

里仁第四

子曰、士志於道、而恥悪衣悪食者、未足与議也。

子曰わく、士、道に志して、悪衣悪食を恥ずる者は、未だ与に議るに足らず。

(4-75)

<子曰わく、士、道に志して、悪衣悪食を恥ずる者は>

Q：「子曰わく、士、道に志して、悪衣悪食を恥ずる者は」とは何ですか。

- A：(1)「孔子が言った。士(道徳の修養に志す人)たる人物で、その修養に志しながら、着衣や食物の粗末さを恥かしいと思う者がいたとしたら」の意。
- (2)「仁義道徳の道に志して、学問修養をしているいわゆる士といわれる者で、衣服や食事のみすぼらしいのを恥じるようでは」の意。
- (3)「士」とは、「道に志し、学問修養をしている者」の意。
- (4)「志す」とは、「心がある目的に向かって動いていること」をいう。

<未だ与に議るに足らず>

Q：「未だ与に議るに足らず」とは何ですか。

- A：(1)「私と一緒に、道について論ずる資格はない」の意。
- (2)「まだまだ一緒に道を論ずる資格はない」の意。
- (3)「議る」とは、「論じ合う」の意。
- (4)人にして立志修学の努力をする者を広く士と称する。立志修学の人には目的が道に在り、学問に在るから粗衣粗食を恥としない。

2011年6月13日林明夫記